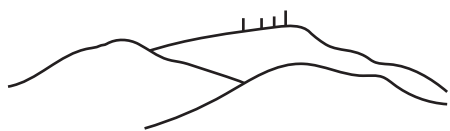


# Youth Manna

2022/2/21 - /2/27



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/2/21(月)

## 申命記 29 章

モーセがイスラエルの全ての民に語った言葉は次の通り。

①あなたがたは、エジプトの地で、主があなた方の目の前で大きなしるしと不思議をなさったのを見た(2、3)。事実、主は荒野の旅路であな

あなたがたを守ってくださった(5)。→私たちも、神様が何をしてくれたのか、その時は大きな喜びであっても、時間と共に忘れやすい者。

②あなたがたは、異邦の民の神々に行き行って仕えてはならない。あなたがたのうちに、毒草や苦よもぎを生ずる根があってはならない(18)。→イスラエルの民は、神様に背いたという苦い歴史もある。私達も、自分が犯した罪の重みも忘れやすい者。

③隠されていることは主のもの、現れたものは私達とその子孫のもの(29)

→今、全てが分からないこと、逆に言えば後になって分かることもある。疑問に思うこと、どうしていいかわからないことも、私達は「今は神様が故意に隠しているんだ」「それは神様の時に明らかになる」と、祈ることができるよ!

2022/2/22(火)

## 申命記 30 章

神様に従順な者は祝福され不従順な者はのろいを刈り取ると 28 章で言われています。しかし今日の箇所では不従順な者でも、神様に立ち返るなら憐れみ深い神様は赦して回復して下さり、のろいを祝福へと変えてくださると書いてあります。(1-10)

間違えても、罪を犯しても、深い愛で赦して受け入れて下さる神様を愛して聞き従うことで私達は命と祝福を受けます。(20) だからこそ神様の命令である、みことばを口づさみ、心に蓄えて生きることができると励まされています(14)

今日も命の源である神様を愛して過ごそう!! みことばを諦めず読み続けよう!!

2022/2/23(水)

## II テモテ 1 章

この手紙は、ローマの牢獄に囚われているパウロが、エペソ教会の牧会をしていたテモテへ宛てた手紙である。テモテは困難な中で牧会を続けており、その励ましのために書かれている。

信仰によってキリストと結びつくときに、永遠のいのちが与えられる。パウロはこのいのちの約束のために使徒として召されたが、このとき彼は福音の働きのために苦しみにあっていた。「私がお任せしたもの」(12)とは、みことばに基づいた健全な教えのことだと言える。この健全な教えを受けて、守り伝えていく使命は、テモテだけではなく全てのクリスチャンに与えられたものである。牢獄で殉教の死を前にしたパウロは、聖霊によって、健全な教えに根ざした生き方をしようとして、テモテに伝えようとしていた。

7-8 節にある福音に根ざした生き方をできるように、聖霊の助けを祈ろう!

2022/2/24(木)

## II テモテ 2:1-13

自信を失ってしまったテモテへのパウロの励ましが記されている。この時パウロは殉教が目前に迫っていた。その中でテモテを励ますために手紙を送っている。

7 節でパウロは、教えたことについてよく考えるように勧めているが、私たちはどうだろうか? 礼拝のメッセージで聞いたことを生活の中で実践できているだろうか? 聞いて何かを思わされただけで終わったりはしていないだろうか?

神様と生活をフィットさせよう! そのためにも戦うべきものはなんだろうか? 具体的に祈ろう!!

2022/2/25(金)

## II テモテ 2:14-26

テモテが仕えていたエペソの教会では偽教師達が間違った教えをして教会が混乱していました。

それに対してパウロは無駄な争いや議論をさけて(23) 真理のみことばを真っ直ぐに教えることで迷った人を正しく戻すようにと教えました。(15) また良い働き人として、すぐに争わず、優しく、よく教え、忍耐し、偽教師達にも柔和に教えるようにと励ましています。(25.26) 偽教師達にも悔い改めるチャンスが与えられるのは神様の愛の大きさが現されていますね。

考えよう! 無駄に言い争ってしまうことはないだろうか? どうしたら優しく話せるか祈ろう!!

2021/2/26(土)

## II テモテ 3 章

終わりの日、つまりイエス様が再びこの地に来る直前の日々の中で、困難な時代がくると語られている部分があるね。

その備えとして私たちがどのように歩むべきかも今日の場合では書かれている。そんな中でも、信仰をもって主を恐れることが励まされているね。自分だけを愛したり、金銭を第一にすることは、私たちを神様から離す罪となってしまう。だから、土台となるイエス様に繋がっていることがとっても大切なことなんだ。

みんなは信仰の嵐や苦難に遭ったことはあるかな? 日々の中でイエス様に留まり続けよう!

2021/2/27(日)

## II テモテ 4:1-8

殉教の死を目の前にしてパウロは最も残したいことばをテモテに3つに分けて伝えました。1つ目は神様の働き人への励ましです。パウロの励ましは「みことばを宣べ伝えなさい」ということが第一にきます。そして、みことばを語ることの休みがあってはならないと伝えます。2つ目は教会の手ごわい敵についてです。教会の手ごわい敵は偽教師ではなく、自分の好みの話を聞きたいと願う聞き手の側に潜っていると語っています。3つ目はパウロが到達した人生のゴールについてです。パウロは自分の死が近いことと、自分のこれまでの歩みを振り返って、使命を成し遂げたという思いを語っています。パウロはイエス様の再臨と、その時に実現する神の国、そして神様が授けてくださる義の栄冠に思いを寄せています。

神様が用意してくださっている自分のゴールを思い巡らしつつ、主に自分を捧げよう!